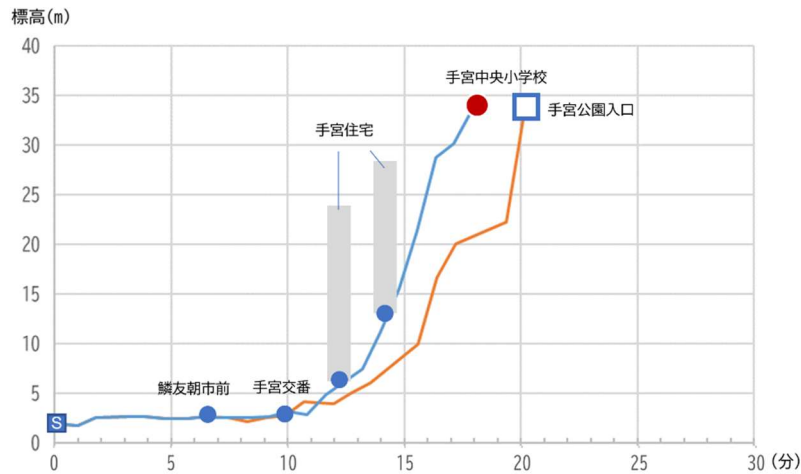


手宮 — ルートb(北浜岸壁⇒鱗友市場⇒手宮公園入口)雪道あり



北浜岸壁をスタート地点に、冬の鉄道博物館と海を眺めながら歩くルートをご紹介します。なお、写真は2月のもの。



※グラフに表示した標高は国土地理院の標高タイルデータを使用していますが、場所により5m四方、10m四方、500m四方のエリアの代表的な数値を示したものであり、ルート上の正確な標高とは異なる場合があります。標高精度は0.3m以内～5m以内です。
 ※グラフに表示した建物のサイズは建物の大きさや高さではなく、目視確認により最上階の高さを大まかに推測したもので、その正確さは保証されません。
 ※グラフに表示した歩行時間は、計測者が早歩きまでではないが、通常よりもわずかに早い速度を意識して歩いた際に要した時間であり、その歩行速度は一定ではありません。

1



北浜岸壁は一部使用が制限されているが、週末には釣り人が集まる。

2



北浜岸壁のすぐ隣には、小樽市の中央下水終末処理場の建物がある。

3



小樽港縦貫線へ一旦出たら中央下水終末処理場を見るとこんな感じ。歩道は除雪されていない場合もあり、結構狭い。目指す鉄道博物館方向は逆側だが、歩道の状態はほぼ同じ。

4



ローソンの前を通り、鱗友朝市前の交差点で左に曲がる。

5



信号のある5叉路に着いたら、交番やガソリンスタンドの並ぶ通りを進む。

6



左手に手宮住宅の横を上る歩道があるのだが、除雪されていないため、ここに道があるのを知らなければ、歩こうと思わないかもしれない。

7



30cm程の雪に埋まりながら上ると、鉄道博物館と海が眺められるポイントへ到達。冬季は車両がブルーシートに覆われて見えないのが残念。この歩道を上りきると手宮公園入口に出る。手宮公園入口まで約20分。

雪をかき分けながら上るのがきつい時は、5叉路で一山側の道を進み、手宮公園や手宮中央小学校へと続く道(励ましの坂)を歩き、手宮住宅の間からのぞく海を見ることにするのも良い。手宮公園の建屋がある地点へは、手宮公園入口から更に10～15分程歩くが、桜の時期には桜と小樽港の素晴らしい眺めが楽しみ、頑張って歩く価値がある。